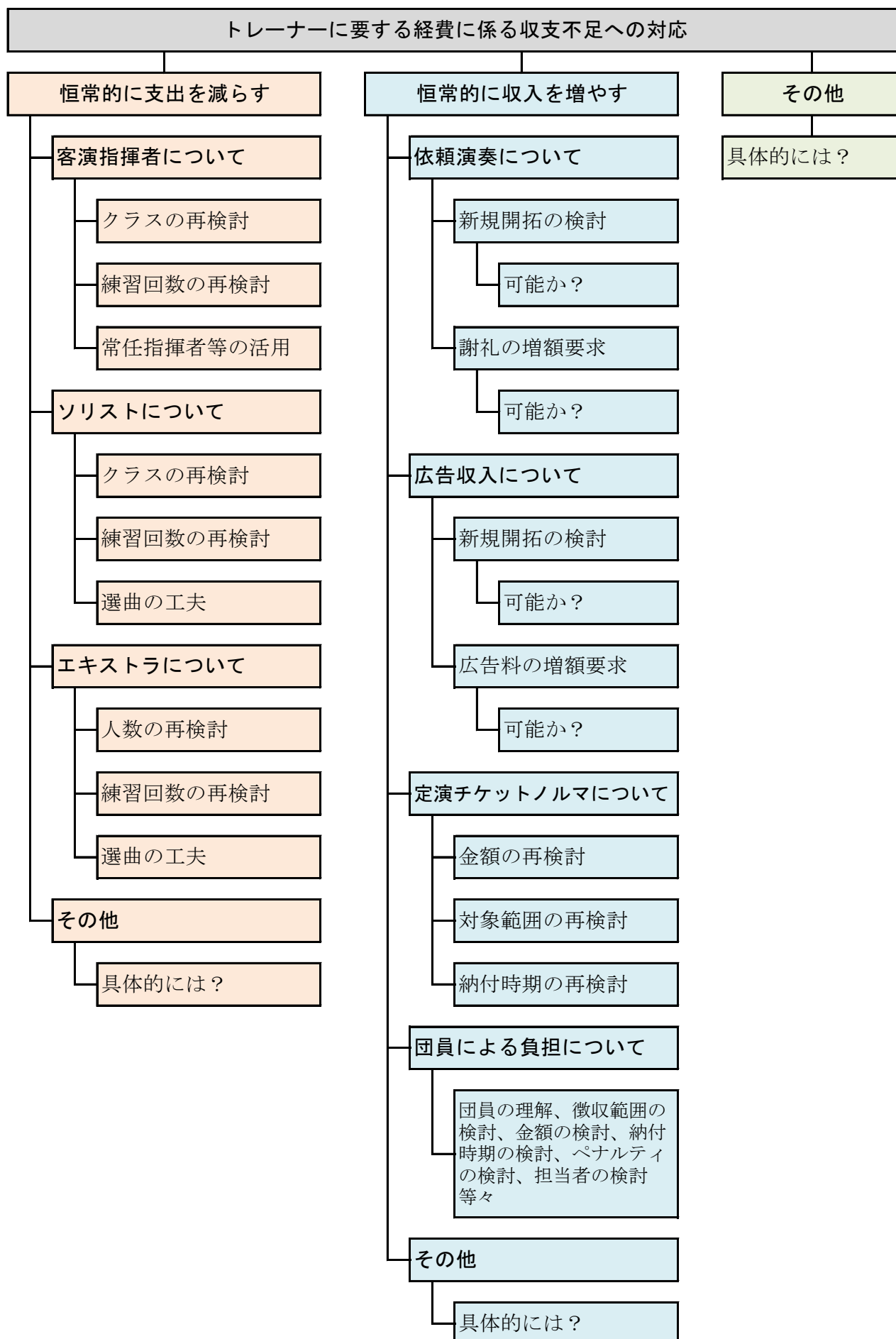


## ■ トレーナーに要する経費に係る収支について



◇恒常的に支出を減らす

プロの客演指揮者の招聘等は倉管定期の目玉であるが、楽団の支出の中で大きな割合を占めており、見直しの対象となりうるか。

【客演指揮者についての検討例】

- 客演指揮者のクラスを落とし、経費を削減する。
- 客演指揮者の練習回数を減らし、経費を削減する。
- トレーナー等を活用し、経費を削減する。（本番での活用も検討）

【ソリストについての検討例】

- ソリストのクラスを落とし、経費を削減する。
- ソリストの練習回数を減らし、経費を削減する。
- ソリストの必要がない曲目を選択し、経費を削減する。

【エキストラについての検討例】

- エキストラの人数を減らし、経費を削減する。
- エキストラの練習回数を減らし、経費を削減する。
- エキストラの必要がない曲目を選択し、経費を削減する。

【その他】

- その他具体的な経費削減策があれば。←恒常的な経費削減がポイント

◇恒常的に収入を増やす

これまでも収入を増やすことについて議論されてきたが、トレーナーの設置に伴い、これまでよりも踏み込んだ検討を行う必要がある。

【依頼演奏について】

- 新規開拓についてはこれまでも議論されてきたが、本当に可能か。
- 本楽団としては謝礼の増額を希望したいが、可能か。

【広告収入について】

- 新規開拓が可能か。誰が行うか。具体的なあてがあるか。
- 本楽団としては広告料の増額を希望したいが、可能か。

【定演チケットノルマについて】

- 施行細則第10条第3項で、ノルマの額は演奏会の都度定めるとされている。  
→この額について、今後の状況から見直すべきか。
- 楽団として現金を確保するため、ノルマの納付時期は早めるよう検討すべきか。

【団員による負担について】

- 団員がトレーナー招聘の費用を負担することについて理解が得られるか。
- 公正公平な負担の徴収ルール作成等の仕組みが必要

【その他】

- その他具体的な収入増加策があれば。←恒常的な収入増加がポイント

◇その他

その他、収支不足への対応について具体的な方策があれば。